

令和6年度進行管理・評価シート
水戸市 歴史的風致維持向上計画（平成31年3月26日認定）
（最終変更 令和7年3月26日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 ①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討/②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進/③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 水戸市景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘道館公園整備事業	3
2 偕楽園公園整備事業	4
3 保和苑整備事業	5
4 千波公園整備事業	6
5 都市景観形成助成事業	7
6 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業	8
7 三の丸地区周辺景観整備事業	9
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	10
2 民俗芸能実演支援事業	11
3 文化財・まちなみ巡り事業	12
4 観光周遊バス運行事業	13
5 歴史的風致に関連した祭り開催支援事業	14
6 歴史的風致情報発信推進事業	15
7 文化財指定, 調査, 保存活用計画策定等の推進	16
8 文化財の修理, 整備, 防災事業の推進	17
9 文化財に関する普及・啓発の推進	18
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1	19
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 水戸市への観光客数の推移	20

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	21
-------------------------	----

評価軸①-1

組織体制

令和6年度		評価対象年度	令和6年度
項目		担当	現在の状況
①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施		水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	○水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ:計画の推進及び変更に係る課題の調査及び検討 ○水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会:計画の策定及び推進に伴う庁内の連絡調整を所掌 ○水戸市歴史的風致維持向上計画協議会:計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を所掌		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「水戸市歴史的風致維持向上計画協議会」を開催し、計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を行った。なお、「水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会」及び「水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ」については、開催に要する議題がなかったことから今年度は開催しなかった。 【各会議の実施回数】水戸市歴史的風致維持向上計画協議会（1回）			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

水戸市歴史的風致維持向上計画協議会
 (会長:学識経験者, 委員:県関係課長及び市関係部長)
 ○第1回: 令和6年4月15日開催
 ・令和5年度進行管理・評価シートについて
 ・中間評価について



協議会当日の様子

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況
水戸市景観計画の活用		水戸市都市計画課景観室	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	水戸市景観計画に基づき、重点区域内の4つの地区(三の丸周辺地区、偕楽園周辺地区、保和苑周辺地区、備前堀周辺地区)を重点的に景観形成を図る地区として位置づけ、それぞれの景観形成方針の下に重点的に景観形成を図ることとしている。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①大規模建築物等の景観誘導:水戸市景観計画(平成20年度策定)及び景観法により、良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)の事前届出制度による景観誘導を図った。(令和6年度届出件数:14件(重点区域内)、56件(水戸市全域)) ②高度地区による建築物の高さの制限:重点区域を含む市街化区域全域(既に高さ規制のある地域を除く)について、高度地区の都市計画決定(平成22年度)により、歴史的資源や自然景観の保全、良好な住環境の保全及び秩序ある都市環境の創出を図った。 ③屋外広告物の行為の制限:水戸市屋外広告物条例(平成22年度施行)により、重点区域内の「偕楽園・千波湖周辺地区」及び「弘道館・水戸城跡周辺地区」を屋外広告物特別規制地区に指定することで規制を強化し、良好な眺望景観の保全を図った。(令和6年度許可件数:10件(特別規制地区内)607件(水戸市全域)) 平成31年度には、弘道館・水戸城跡周辺地区で区域を拡大した。既存不適格広告物に関しては、これまで条例に適合するよう是正指導を行い、撤去又は改修を促し、一定の効果をあげた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		水戸市景観計画ほか景観関係施策に基づき、歴史的資源や自然景観の保全を引き続き実施する。また、現在改定中の本計画の作業過程において、より実効性のある施策を検討する。	
状況を示す写真や資料等			
①大規模建築物等の景観誘導 良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)について、事前届出制度による景観誘導を図っている。(対象区域:水戸市全域)。			
②高度地区による建築物の高さの制限 重要な歴史的資源や自然等の良好な景観を保全する地区については、地域の特性に応じた規制値を設定した。 【良好な景観を保全する地区】 ●水戸駅北口地区、●弘道館周辺地区、●芸術館周辺地区、●偕楽園周辺地区、●備前堀周辺地区、他			
③屋外広告物の行為の制限 弘道館や偕楽園等の水戸を代表する魅力ある眺望景観の保全を図るため、水戸市景観計画において、屋外広告物の行為の制限について特に重点的に景観形成を図る区域と位置づけた区域を、「屋外広告物特別規制地区」に指定した。これらの地区については、高い位置に設置が可能となる屋上利用広告物などを規制することにより、良好な眺望景観を保全することを目指す。(条例第6条)。 【規制内容】 これらの地区では、次の屋外広告は表示できない。 ●アドバルーン ●屋上利用広告物 ●電光装置等を用いる屋外広告物(電光ニュース・ビジュアルボード等) また、次の基準を満たす必要がある。 ●表示面積の1/4を超えて彩度8を超える色彩を使用しないこと。 ●蛍光、発光又は反射を伴う塗料又は材料を使用しないこと。 ●ネオン、点滅する照明、回転灯等を使用しないこと。			
④景観重要建造物の指定 良好な景観の形成に重要な建造物を、景観法に基づき指定し、地域の個性ある景観づくりの核として、その維持・保全及び継承を図ることを目指す。			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和6年度		令和6年度
項目	担当	現在の状況
弘道館公園整備事業	茨城県都市整備課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和10年度	
支援事業名	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業	
計画に記載している内容	「旧弘道館」保存活用計画書」に基づき、段階的に整備を進めていく。 ①公開方法に関する整備 ②情報提供に関する整備 ③公園施設の活用に関する整備 ④藩校時代の諸施設の再現検討	
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で		
保存活用計画に基づき、令和6年度は次に掲げる事業を実施した。 ①公衆用トイレ新設工事（竣工） ②展示用照明の改修（LED化） ③IBARAKI Free-Wi-Fiの整備		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等



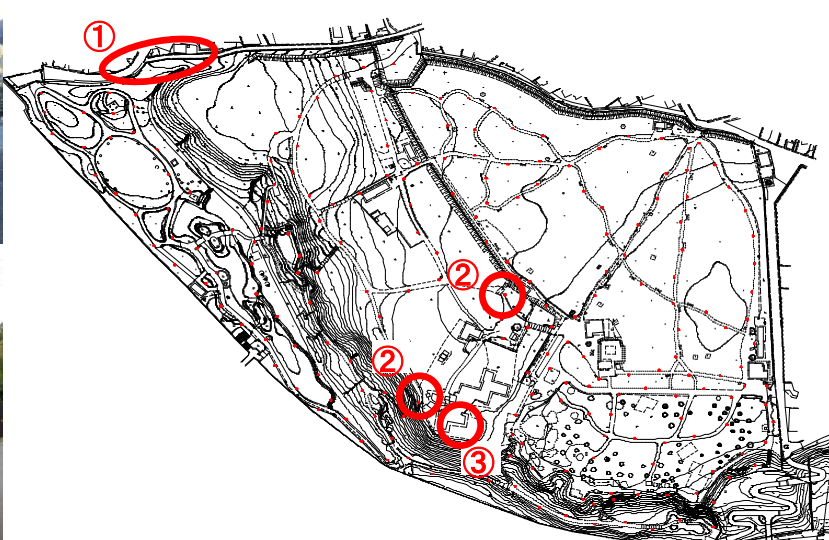
①公衆トイレ新設工事



②展示用照明の改修 (LED化)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況
偕楽園公園整備事業		茨城県都市整備課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成19年度～令和10年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業) 歴史生き活き！史跡等総合活用整備事業		
計画に記載 している内容	「偕楽園(史跡及び名勝常磐公園)保存活用計画報告書」に基づき、段階的な整備を進めていく。 ①偕楽園の文化財価値の向上:好文亭の耐震化など歴史的建造物の整備、梅の後継木育成、景観整備、本来の歩行導線整備など ②利用者の満足度向上:ユニバーサルデザインをふまえた公開ルートの整備、わかりやすい解説板整備、トイレ洋式化、南崖のライトアップなど		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
偕楽園の歴史性を踏まえた環境整備を進め、文化的価値の向上を図るため、令和6年度は次に掲げる事業を実施した。 ①板塀整備工事 ②歴史建造物の改修(中門、露地門) ③好文亭内の扁額修繕(楽寿楼、好文亭 等)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
 ①板塀整備工事 (上：整備後 下：整備前) 			
 ②歴史的建造物の改修 (左：中門 右：露地門)  ③好文亭内の扁額修繕 (上：楽寿楼 下：好文亭)			

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況
保和苑整備事業	水戸市公園緑地課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 平成28年度～令和10年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園事業)

計画に記載している内容 園内の継続的な整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上を図るとともに、周辺のまちなみと調和した景観づくりを進めていく。

①西側の修景施設整備:植栽と散策路、及び休憩施設の配置
 ②園路の整備:バリアフリーに配慮したスロープの設置、西側の修景施設をつなぐ園路整備

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和6年度においては、和風庭園にふさわしい園路整備工事及び鳥小屋跡地において施設整備工事を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的風致との調和を図りつつ園路整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上に努める。

状況を示す写真や資料等



施工前



完成



施工前

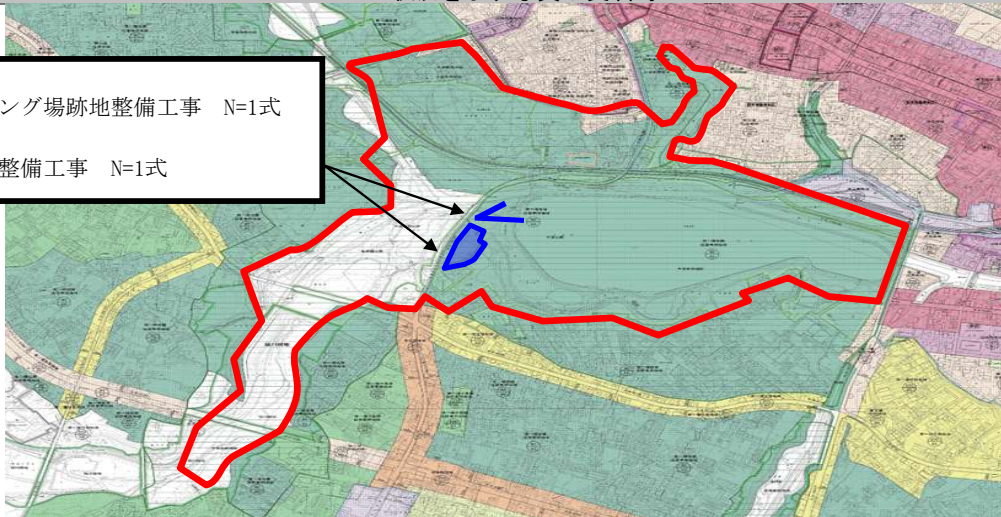


完成



評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況
千波公園整備事業		水戸市公園緑地課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	都市構造再編集中支援事業(個別補助)		
計画に記載 している内容	偕楽園や隣接する桜川緑地、沢渡川緑地、紀州堀緑地、逆川緑地を含めた大規模公園として整備を行い、景観形成を図る。 ①千波公園の各広場等の整備②千波公園拡張部の整備③千波湖の水質浄化		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和6年度は、次に掲げる事業を実施した。 ①ボウリング場(レイクサイドボウル)跡地整備 ②流末等整備工事(特殊人孔築造, 雨水マンホールポンプ設置含む)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今後千波公園においてはパークPFI事業等さらなる賑わいの創出に向け、歴史的風致との調和を図りつつ園内施設の充実や千波湖の水質改善に努めていく。		
状況を示す写真や資料等			
ボウリング場跡地整備工事 N=1式 流末等整備工事 N=1式 			
施工箇所①	 施工前	→	 完 成
施工箇所②	 施工前	→	 施工中

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		担当	現在の状況
都市景観形成助成事業		水戸市都市計画課景観室	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成15年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	都市景観重点地区(備前堀沿道地区／弘道館・水戸城跡周辺地区)における、優れた都市景観づくりに寄与する下記のような行為に対して助成金を交付し、地区の歴史性などと調和した景観づくりを推進していく。 ①建築物等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち外観に係るもの ②門、塀又は擁壁、石垣等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち、外構に係るもの ③オープンスペースの整備に係るもの ④建築等の外観を変更することとなる修繕、模様替又は色彩の変更に係るもの 等		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年度に水戸市都市景観形成補助金を改定し、弘道館・水戸城跡周辺地区も補助金交付の対象地域とした。 令和6年度実績 ○備前堀沿道地区(交付0件) ○弘道館・水戸城跡周辺地区(協議3件、交付0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない		備前堀沿道地区ではこれまで建造物14件に対し補助金を交付した実績があり、着実に進捗している。弘道館・水戸城跡周辺地区においても、これまで12件に対し補助金を交付した。今後も、制度の活用を積極的に働きかけ、歴史的景観を生かした都市景観の形成や維持向上に努める。	

状況を示す写真や資料等

◆水戸市都市景観形成補助金事業対象範囲

○備前堀沿道地区



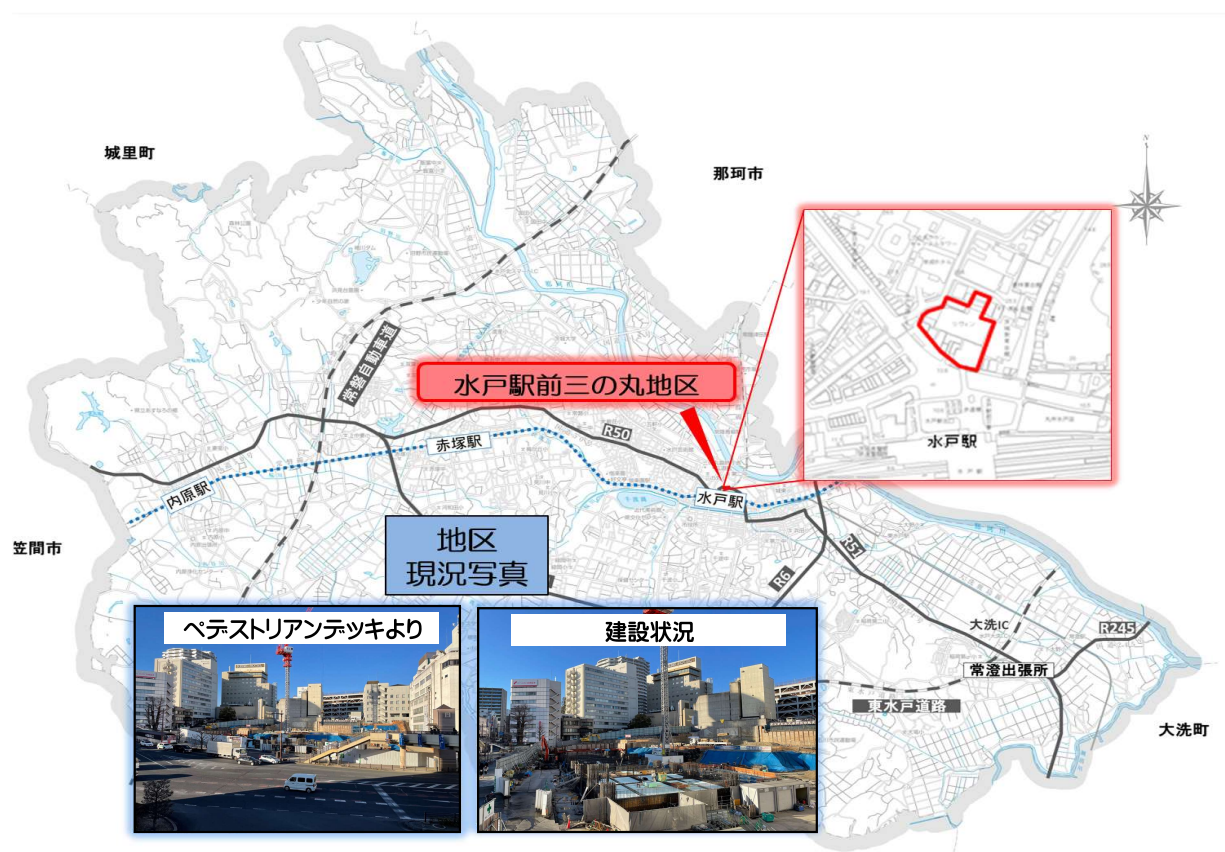
○弘道館・水戸城跡周辺地区



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

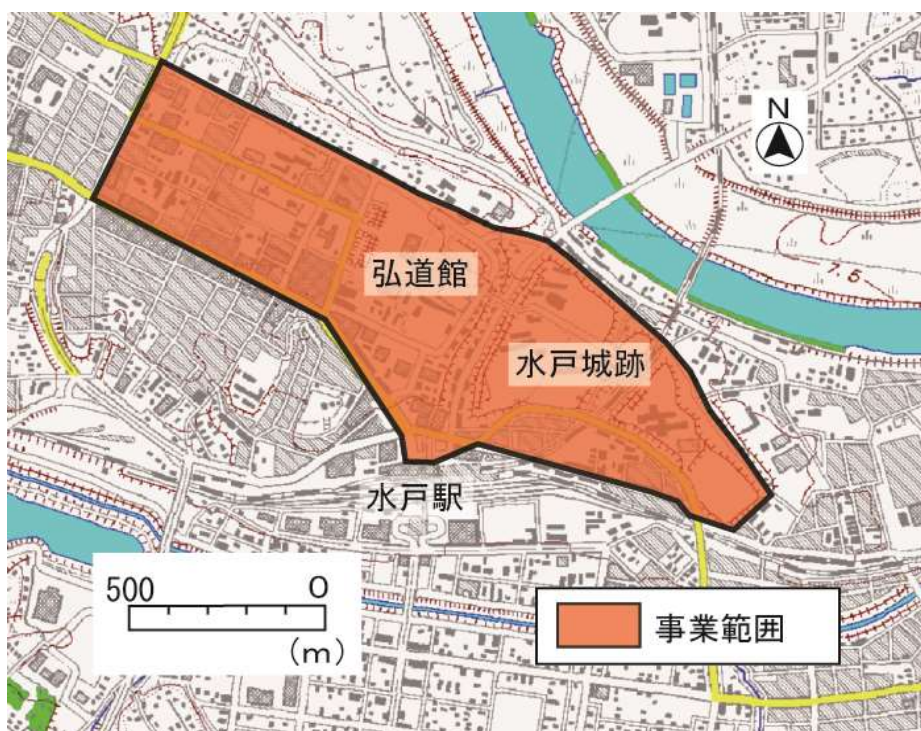
令和6年度		
項目	評価対象年度 担当	現在の状況
水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業		水戸市市街地整備課 ☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和8年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(市街地再開発事業, 防災・省エネまちづくり緊急促進事業)	
計画に記載している内容	水戸駅から弘道館方面へのアクセスルートを確保し, 歴史的な景観に配慮した整備を行うことで, 水戸の玄関口にふさわしいまちなか交流拠点の形成を目指す。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
再開発組合に対して, 解体工事及び建築工事の支援を行い,11.3%の建築工事進捗率(令和6年度末)である。		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		再開発組合と緊密な連携を図り, 令和8年度の事業完了を目指す。
状況を示す写真や資料等		



評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況
三の丸地区周辺景観整備事業		水戸市市街地整備課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成31年度～令和10年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載 している内容	三の丸地区周辺の電線地中化や道路の拡幅、車道・歩道の再整備と、あわせて沿道周辺の広場の整備などを行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
一部未整備となっていた箇所(歩道)について、地権者の協力が得られたため、用地取得を進めている。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		第7次総合計画において、道路の回遊ルートや景観コンセプトなどを前期計画で検討したうえで、後期計画での整備路線の位置付けを行う。	
状況を示す写真や資料等			



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況
水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容 無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、下記の活動に対し補助金を交付する。 ①水戸市郷土民俗芸能のつどい事業費助成事業 ②水戸市民俗芸能団体協議会事業費助成事業 ③大串のささらばやし伝承保存及び後継者育成事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①水戸市民俗芸能団体協議会事業費助成事業 5団体(大串ささらばやし保存会、大野みろくばやし保存会、杖友会、向井町散々楽保存会、水戸若鷺会)に対し補助金を交付した(交付金額:560千円)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	民俗芸能団体は担い手の減少等の理由により、本事業による補助金は貴重な財源となっている。今後も引き続き助成を継続し、団体の運営を支援することで民俗芸能の保存・活用を図る。	
状況を示す写真や資料等		
 大串ささらばやし保存会  大野みろくばやし保存会  向井町散々楽保存会  水戸若鷺会  杖友会(田谷の棒術保存会)		

評価軸④-3

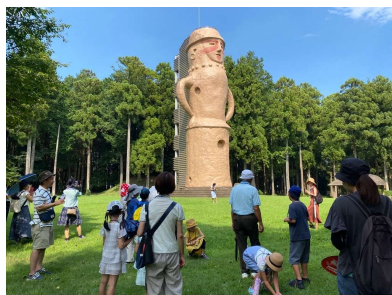
文化財の保存又は活用に関する事項

文化財・まち・観光・まちづくり		評価対象年度	令和6年度
項目		担当	現在の状況
文化財・まちなみ巡り事業		水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市内や本市ゆかりの場所にある文化財やまちなみを訪問する水戸郷土かるためぐりや史跡めぐりを実施し、本市の歴史や文化などへの理解を深める機会を提供していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①水戸郷土かるためぐり: 令和6年7・8月に市内の小学生親子31組(72名)を対象に、かるたに詠まれる各所を巡る事業を企画した。 ②史跡めぐり: 令和6年10月に市内70名を対象に、茨城県桜川市の史跡等を巡る事業を企画した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		かるた・史跡めぐりは、応募者多数により抽選で参加者が決定するほどの人気事業になりつつある。引き続き、より市民の興味・関心を引くような行程や内容を検討し、本市の歴史や文化への理解を深める機会を提供する。	
状況を示す写真や資料等			

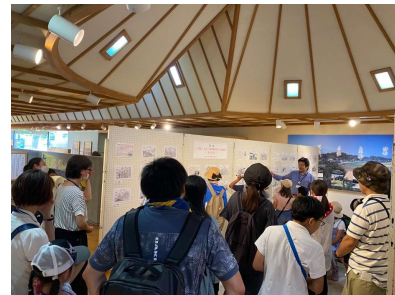
①令和6年度水戸郷土かるためぐりの様子



県近代美術館



くれふしの里古墳公園



内原郷土史義勇軍資料館

②令和6年度史跡めぐりの様子



小山寺



真壁重伝建地区



真壁城跡

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和6年度
項目		担当	現在の状況
民俗芸能実演支援事業		水戸市歴史文化財課	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	本市に伝わる民俗芸能を幅広く市民に周知するため、市主催のイベントを中心に、実演の機会を提供している。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①第33回風土記の丘ふるさとまつりにおいて実演を支援した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		引き続き民俗芸能の実演の機会を提供することで、広く伝承・公開するとともに、民俗芸能団体の活動の活性化を図る。	
状況を示す写真や資料等			

①第33回風土記の丘ふるさとまつり(令和6年11月10日開催、会場:大串貝塚ふれあい公園)

国選択無形民俗文化財

「大串ささらばやし」



国選択無形民俗文化財

「大野みろくばやし」



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況		
観光周遊バス運行事業	水戸市観光課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手		
計画に記載している内容	水戸の梅まつりなど、花の名所で開催されるイベントに合わせて観光周遊バスを運行し、偕楽園や弘道館など歴史的資源を周遊する。			
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で				
1 主要な季節のイベントに合わせて3行程(計7日間)の観光周遊バスを運行した。乗車人数は推計約2,600人 (1) 観光漫遊バス～水戸のあじさい満喫編～ 乗車人数 771人 ・期 日: 令和6年6月15日(土曜日)・16日(日曜日) ・ル ー ト: 保和苑下→水戸駅南口→弘道館・水戸城大手門前→MitoriO(水戸市民会館横)→水戸八幡宮前→保和苑下 (2) 観光漫遊バス～茨城アフターDC編～ 乗車人数 1,214人 ・期 日: 令和6年11月30日(土曜日)・12月1日(日曜日) ・ル ー ト: 千波湖西駐車場→水戸駅南口→弘道館・水戸城大手門前→MitoriO(水戸市民会館横)→県立歴史館前→もみじ谷→千波湖西駐車場 (3) 水戸の梅まつり周遊バス 乗車人数 約630人 ア 夜梅シャトルバス ・期 日: 令和7年2月22日(土曜日) ・ル ー ト: 水戸駅南口→弘道館・水戸城跡→水戸市民会館横→偕楽園・常磐神社前→水戸駅南口 イ 観光周遊バス～梅薫る水戸満喫編～ ・期 日: 令和7年3月1日(土曜日)・2日(日曜日) ・ル ー ト: 偕楽園(千波湖西駐車場)→弘道館・水戸城跡→水戸市民会館横→茨城県立歴史館→偕楽園(千波湖西駐車場) 2 観光周遊バスを運行し、イベント会場から偕楽園や水戸城跡といった歴史的資源への周遊を促すことにより、市民や観光客に対する歴史的風致の普及啓発に一定の成果を得た。				
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	従来のボンネットバスでの催行に加え、梅まつりにおいては茨城交通が所有する梅柄のラッピングバス(路線バス)を使用し、多くの方に周遊していただいた。 今後は、周遊ルートに体験プログラムを行っている施設を加えるなど民間事業者等と連携することで、さらなる観光客の周遊による観光消費の拡大を図ってまいりたい。			
状況を示す写真や資料等				
				
弘道館・水戸城跡を走行する観光周遊バス				

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況
歴史的風致に関連した祭り開催支援事業		水戸市観光課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	水戸の梅まつり(偕楽園周辺)や水戸黄門まつり(東照宮周辺)など、歴史的風致内で実施されるイベントの開催にあたり、補助金を交付し、企画・実施からPRまで幅広い支援を行うことで、市民や観光客の歴史的風致に対する興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上につながる様々な活動への参加を促進していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
○歴史的風致に関連した祭り等の開催を支援し、多くの観光客が来場した。 (1)水戸のあじさいまつり ・期間: 令和6年6月8日(土曜日)～6月30日(日曜日) ・会場: 保和苑及び周辺史跡 ・来場者: 47,000人 ・内容: 開催50回を記念してみとの魅力宣伝部長であるシンガーソングライターの磯山純氏が制作した水戸のあじさいまつりテーマソングを活用し、あじさいまつりの認知度向上と誘客促進を図った。また、周辺の学校が多い地域特性をいかし、地元和菓子店とのコラボスイーツの開発・販売をはじめ、司会進行やステージへ出演等、多くの学生の参画を通して、歴史的風致の若い世代への普及・啓発につなげた。 (2)水戸黄門まつり ①水戸偕楽園花火大会 ②本祭 ・期間: ①令和6年7月27日(土曜日) ②令和6年8月3日(土曜日)・4日(日曜日) ・会場: ①千波湖 ②国道50号(水戸駅北口～大工町交差点) ・来場者①230,000人 ②165,000人(2日間計) 合計395,000人 ・内容: ①内閣総理大臣賞21回受賞(当時)の花火師「野村花火工業」による花火の打ち上げを行った。 ②東照宮の山車が参加する山車巡行をはじめ、水戸市の伝統工芸品である水府提灯を活用した水戸黄門提灯行列、水戸ふるさとみこし渡御等を実施するなど、市民や観光客に対する本市の歴史的風致の普及・啓発を図った。 (3)水戸の梅まつり ・期間: 令和7年2月11日(火曜日・祝日)～3月20日(木曜日・祝日) ・会場: 偕楽園・弘道館 ・来場者: 243,600人 ・内容: 偕楽園においては、恒例行事に加え「陰と陽」の世界感を体感できるライトアップイベント「偕楽園UME The Lights」を初開催し、更なる誘客促進を図った。また、弘道館においては、水戸東武館による武道演武や、公開講座などのほか、「夜・梅・祭2025～水戸城～」として、会場内の歴史的建造物等を活用したライトアップやプロジェクションマッピング等を行うなど、若い世代への興味・関心にも繋がる取組も行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	今年度は、水戸の梅まつりの新たなライトアップイベント「偕楽園UME The Lights」を初開催し、若者を中心に本市の歴史的風致の普及・啓発を図った。 今後は、各まつりの更なる周知を図り、本市の歴史や文化への興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上に繋がる取組を行う。		
状況を示す写真や資料等			
			
水戸黄門提灯行列の様子 (第64回水戸黄門まつり)		偕楽園UME The Lightsの様子 (第129回水戸の梅まつり)	

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況
歴史的風致情報発信推進事業	水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 市広報誌やSNSを活用した文化財や関連行事に関する情報発信、さらには文化遺産説明板の設置を行い、市民の歴史・文化に対する理解を深めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ①市広報誌:特集「角聖と呼ばれた男 一常陸山谷右衛門生誕150年」ほか
- ②市公式Facebook:「ミニ企画展 漫画『満蒙開拓青少年義勇軍』の世界」開催記事ほか
- ③市立博物館公式X(旧ツイッター):特別展「江戸氏」関連記事ほか
- ④小中学校向け無料連絡アプリ:「水戸郷土かるためぐり」のお知らせ
- ⑤文化遺産説明板設置及び補修:2件
(義公生誕の地, D51形515号蒸気機関車)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- ☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

SNSを活用した情報発信は発信力・発信スピード等に優れた面があるため、今後も広報部門や観光部門と情報共有を図りながら、歴史的風致に関わるイベント等の情報発信を戦略的に進めていく。

状況を示す写真や資料等



①市広報誌「広報みと」令和6年9月1日号
「角聖と呼ばれた男 一常陸山谷右衛門生誕150年」



②市公式Facebook
「ミニ企画展 漫画『満蒙開拓青少年義勇軍』の世界」



③市立博物館公式X(旧ツイッター)
特別展「人形百科花譜」関連記事



⑤水戸市指定文化財
義公生誕の地 文化遺産説明板

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

令和6年度		令和6年度
項目		担当
文化財指定、調査、保存活用計画策定等の推進		水戸市歴史文化財課
		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	市内に存在する歴史的に価値の高い文化財を、取扱に関する啓発の不足、開発及び生活環境の変化による消滅・損壊から積極的に保護するため、種類別に調査を実施し、実態の把握や文化財の指定に努め、効果的な保存・管理を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①石河明善日記(市指定文化財)の翻刻(17回)、関連講座の開催(2回)		
②市指定天然記念物ヒカリモの調査(20回)		
③市指定文化財候補調査(3件)		
④地域文化財認定候補調査(3件)		
⑤水戸市文化財保存活用地域計画協議会(3回)		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		引き続き、積極的に文化財の調査・把握を行い、文化財の保存を推進する。

状況を示す写真や資料等



①石河明善日記の調査

⑤水戸市文化財保存活用地域計画協議会
(令和6年12月2日開催)

③水戸市新指定文化財(2件) 令和7年2月10日指定



笠原水道絵図



薬王院扁額

④水戸市新認定地域文化財(2件) 令和7年3月19日認定



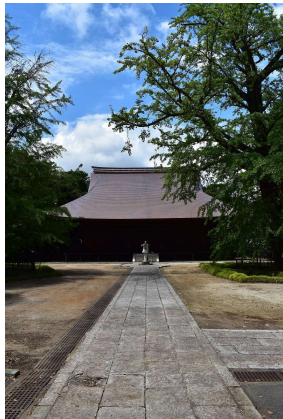
水戸の座敷舞



親鸞聖人御田植の伝承地

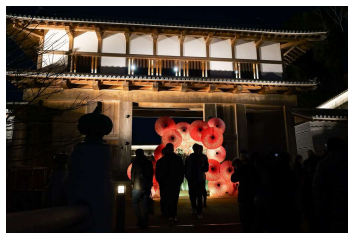
評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況
文化財の修理, 整備, 防災事業の推進		水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載 している内容	【文化財の修理・整備】 文化財に対する保護・整備を拡充するため, 所有者・管理者等との連携を図り, 必要に応じて修理・整備に努める。 【文化財の防災】 防災体制, 設備の整備を図るとともに, 防災訓練や啓発事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【文化財の修理事業】 ①「薬王院本堂」の屋根の修理について 雨漏りが発生した本堂屋根について, 屋根の銅板葺き及び構造補強が完了し, 令和6年8月に事業を完了した。			
【文化財の防災事業】 ①文化財防火デーの企画(令和7年1月24日, 場所: 鯉淵学園農業栄養専門学校) 文化財所有者や近隣住民に対して, 文化財愛護と防災意識の高揚を図るため, 市地域文化財「満蒙開拓幹部訓練所 事務棟・講義棟」からの出火を想定した防災訓練を企画した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		全国的に大規模な自然災害が頻発する中, 文化財防災の対応が重要になってきている。今後も文化財防火デーをはじめとする, 文化財を災害から守る備えとともに, 有事の際に即応できる体制の整備に向けて, 検討を進めていく。	
状況を示す写真や資料等			
【薬王院本堂屋根銅板葺き工事】  銅板が葺き替えられた屋根		 本堂全景(完了後)	
【文化財防火デー】  講義の様子		 消防車からの放水	

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度 担当	令和6年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発の推進		水戸市歴史文化財課	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	史跡めぐりや水戸郷土かるた関連事業をはじめとする各種普及・啓発事業を推進し、市民の歴史・文化に対する意識向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【令和6年度に実施した主な文化財普及・啓発関連事業】 ①令和6年4月1日～7日, 8月1日～15日, 10月16日～25日, 11月1日～7日, 11月19日～25日, 12月23日～令和7年1月13日, 3月29日～4月13日 文化財ライトアップ 場所:水戸市水道低区配水塔 ②令和6年4月26日, 5月24日, 7月21日・25日, 8月22日, 9月11日・19日・20日, 10月11日, 11月2日・8日, 12月4日・6日・17日・19日, 令和7年1月31日, 水戸城現地見学 参加者:491人 ③令和6年4月16日・26日, 5月23日, 7月21日, 8月2日・22日, 9月19日, 10月3日・11日, 11月2日・8日, 12月3日・11日・19日, 令和7年1月18日, 3月22日 いきいき出前講座 ④令和6年7月25日, 8月1日 水戸郷土かるためぐり 参加者:72人 ⑤令和6年10月24日・31日 史跡めぐり 参加者:70人 ⑥令和6年8月18日, 12月8日, 令和7年2月2日 近世日本の教育遺産群サポーター学習会 参加者:73人 ⑦令和6年12月1日・21日 みと歴史講座 場所:文化交流プラザ 参加者:227人 ⑧令和6年7月20日～9月23日 「漫画『満蒙開拓青少年義勇軍』の世界 一元義勇隊員が描いた満蒙開拓の記憶」 場所:内原郷土史義勇軍資料館 来場者:2,099人 ⑨令和6年9月28日～12月28日 「鐵(クロガネ)～古代水戸の鉄生産～」 場所:埋蔵文化財センター 来場者:3,148人 ⑩令和6年9月25日 常陸山生誕150周年記念事業「水戸市出身の伝説の横綱・常陸山について学ぼう」 場所:城東小学校 参加者:360人 ⑪令和6年10月19日～11月24日 常陸山生誕150周年記念特別展「常陸山谷右衛門 ー『角聖』の生きた時代ー」 場所:博物館 来場者:1,955人 ⑫令和6年11月10日 第33回風土記の丘ふるさとまつり 場所:埋蔵文化財センター 来場者:7,115人 ⑬令和6年1月24日 文化財防火デー 講習会及び防災訓練 場所:鯉淵学園農業栄養専門学校 参加者:32人 ⑭令和7年3月22日～5月25日 特別公開「戦国武将書翰集」の世界 場所:博物館 ⑮令和6年10月12日～14日 水戸城大手門2階特別公開(シン・いばらきめし総選挙2024と同時開催) 来場者:1,369人 ⑯令和7年2月22日 夜・梅・祭2025 場所:弘道館, 水戸城大手門, 二の丸角櫓ほか 来場者:4,100人			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和6年度は、様々なイベントに合わせて大手門公開事業を実施し、それに合わせて弘道館乾拓体験など学びの場を提供し、文化財の多様な魅力を発信できた。今後もマンネリ化しないよう魅力的な普及・啓発事業を企画立案し、文化財の普及・啓発に努める。	
状況を示す写真や資料等			
 ③いきいき出前講座  ⑥近世日本の教育遺産群サポーター学習会  ⑧「漫画『満蒙開拓青少年義勇軍』の世界 一元義勇隊員が描いた満蒙開拓の記憶」  ⑨「鐵(クロガネ)～古代水戸の鉄生産～」  ⑪常陸山生誕150周年記念特別展 「常陸山谷右衛門 ー『角聖』の生きた時代ー」  ⑯夜・梅・祭2025 (水戸城大手門前)			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和6年度 掲載紙等
デゴイチ地域文化財に	令和6年4月4日	よみうりタウン
寿獅子舞を披露(水戸大神楽・総本家)	令和6年4月10日	茨城新聞
「水戸の梅まつり」悪天候日多く来場者数は前の年より減少	令和6年4月18日・19日・27日	NHK・茨城新聞
水戸黄門まつり 本祭8月3、4日	令和6年4月20日・29日	読売新聞・茨城新聞
水戸のウメ「植物遺産」偕楽園、市植物公園130種	令和6年4月25日・5月10日・15日・16日	茨城新聞・読売新聞・東京新聞・毎日新聞・NHK
義勇軍の記憶 漫画で残す	令和6年5月9日	茨城新聞
100名城 県都のシンボル(水戸城)	令和6年5月18日	読売新聞
節目の神輿にぎやかに(神幸祭)	令和6年5月20日	毎日新聞
水戸東武館あす式典	令和6年6月1日	茨城新聞
節目の純白 彩る歌(保和苑・あじさいまつり)	令和6年6月6日・9日・11日	よみうりタウン・茨城新聞・朝日新聞・読売新聞
偕楽園、ホテル再生へ	令和6年6月14日	茨城新聞
水戸訪問、歴史学ぶ 中学生が大手門案内	令和6年6月26日	茨城新聞
水府流、隊列整え進む(文化財)	令和6年7月17日	茨城新聞
義勇軍漫画 旧満州に思い	令和6年7月21日・23日	茨城新聞・NHK
みこし、山車増え盛況に(黄門まつり)	令和6年7月25日	茨城新聞・毎日新聞
吉田神社で夏祭り あんどん600個並ぶ	令和6年7月28日	茨城新聞
県都 夜空彩る5000発	令和6年7月28日	茨城新聞・読売新聞
提灯や山車、県都彩る(黄門まつり)	令和6年8月3日・4日	NHK、茨城新聞、産経新聞
水戸空襲 刻む日記や絵(市立博物館)	令和6年8月9日	茨城新聞
子どもたちが制作した「郷土かるた」の大会	令和6年10月6日・7日	NHK・茨城新聞
鎌倉時代の美 家康も魅了(水戸東照宮)	令和6年11月1日	朝日新聞
水戸出身の大横綱「常陸山」生誕150年記念し特別展(市立博物館)	令和6年10月31日・11月7日	茨城新聞・よみうりタウン
緑、黄、赤 秋の錦(偕楽園)	令和6年11月26日	茨城新聞
梅の剪定公開(偕楽園)	令和7年12月3日	茨城新聞
満蒙開拓 途切れた日記	令和7年1月8日	東京新聞
梅花ほころぶ(偕楽園)	令和7年1月12日	茨城新聞

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	令和6年度
梅まつり大使ら 首相表敬しPR	令和7年1月18日	茨城新聞
水戸 偕楽園 早咲き梅の花 例年より2週間ほど遅く咲き始め	令和7年1月20日	NHK
梅まつり 来月11日から	令和7年1月25日・29日	読売新聞・NHK
「陰陽の世界」知る名園(偕楽園・弘道館)	令和7年2月8日	茨城新聞
水戸市文化財 笠原水道絵図を指定 薬王院扁額も	令和7年2月11日	茨城新聞
水戸の梅まつり開幕	令和7年2月12日・14日	茨城新聞・朝日新聞・NHK・読売新聞
節句も華やぎを体系化(市立博物館)	令和7年2月13日・17日・19日	よみうりタウン・毎日新聞・茨城新聞
聖徳太子像 命日に開帳(文化財)	令和7年2月23日	茨城新聞
座敷舞、地域文化財に 親鸞ゆかりの史跡も認定	令和7年3月20日	茨城新聞

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
 ■計画の進捗に影響なし

新聞・テレビ等のメディアによる報道は例年以上に多かった。近年はYouTubeやネットニュース等、報道の多様化が進む一方、依然として新聞・テレビ等の発信力は市内においては高い。そのため、引き続き記者クラブ等を活用し、メディアへの情報提供に努める。

状況を示す写真や資料等



茨城新聞
 「水戸市文化財 笠原水道絵図を指定
 薬王院扁額も」
 令和7年2月11日付
 ※転載許可済

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

令和6年度

項目

水戸市への観光客数の推移

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少していた本市の観光入込客数は、令和3年からは増加傾向をたどっているが、未だコロナ前の水準までは戻っていないのが現状である。

本市の歴史的風致を構成する代表的な歴史的資産である「弘道館・水戸城跡周辺地区」において、二の丸展示館の入館者数は年々増加傾向にある。令和元年度に整備した広場も有効的に活用されており、この地区に訪れる人の増加に寄与していると考えられる。復元した水戸城歴史的建造物を活用する取組や弘道館と二の丸展示館との連携も積極的に行われおり、地区全体での活用の取組が図れている。

進捗状況 ※計画年次との対応

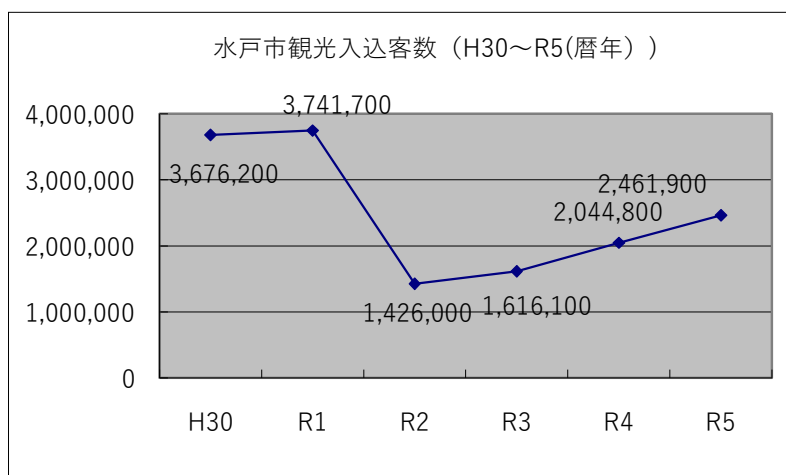
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

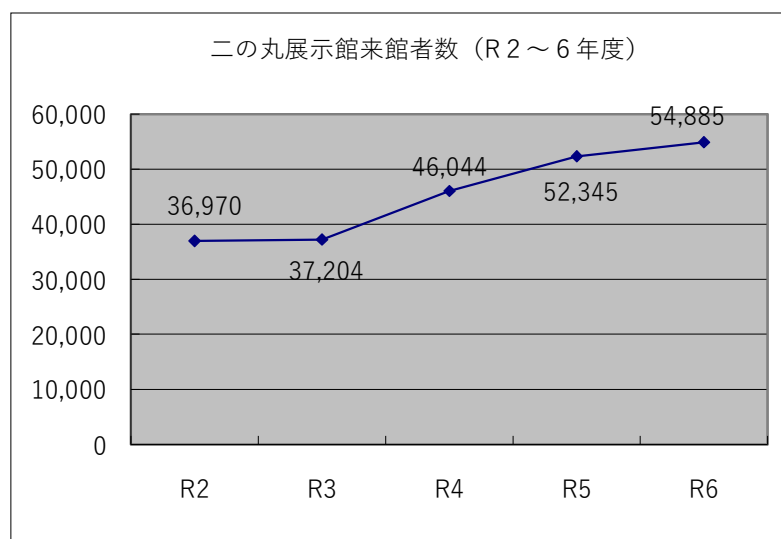
■計画の進捗に影響なし

弘道館・水戸城跡周辺地区に関連する各機関が観光マインドを共有できるよう連携を強化し、引き続き産学官及び市民協働による取組を進めていく。

状況を示す写真や資料等



※茨城県「令和5年観光客動態調査」を基に作成



評価対象年度	6年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和7年度第1回水戸市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和7年5月29日(木) 午後4時～午後5時20分 (会場: 水戸市役所3階 教育委員会室)	
(コメントの概要)	
1. 進行管理・評価シートについて ○文化財・まちなみ巡り事業について(12頁) 史跡めぐりやかるためぐり等, 文化財を巡る事業についてよく取り組まれている。今後も, 市民が文化財に接する機会を増やしていくよう努めてほしい。 ○歴史的風致に関連した祭り開催支援事業(14頁) 大きな規模のお祭りを開催しており, その中で若年層向けのイベントを取り入れることで「若い世代への普及・啓発につなげた」と記載があるが, その効果が明記されていないため, 効果についても検証をしてほしい。 ○文化財に関する普及・啓発の推進(18頁) 市立博物館での展示(常陸山生誕150年記念特別展「常陸山谷右衛門ー『角聖』の生きた時代ー」)について, 内容が興味深い一方, 施設の老朽化や立地に課題があり, 集客につながっていないように感じた。より多くの来場者に訪れてもらえるよう, 施設のあり方を検討するなど, 改善に努めてほしい。	
	
(上)協議会当日の様子	
(今後の対応方針) ・進行管理・評価シートの表記については, 事業効果を明瞭にするなど, 表記の改善を図る。 ・市立博物館については, 中長期的視点に立ち, 施設の在り方の検討を含めた適切な施設管理に努める。	